

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	音楽ゼミ2	
科目基礎情報					
開設学科	演劇スタッフ科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時限数	15時限
単位数	1単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。また練習問題なども必要であれば配布する。				
担当教員情報					
担当教員	山田 素子		実務経験の有無・職種	有・制作	
学習目的					
舞台や演劇スタッフとして必要である音楽の基礎知識を学び、楽譜の読み方が出来るようになる。この科目を通じて舞台の裏方として音楽を身につける事でより現場で即戦力となる事を意識する。楽譜が読める事で更に演者や周囲のスタッフとの意思疎通が取れるようになり、より社会的活動に幅が広がる事を理解する。また、音を楽しむ/親しむ感覚を育み、グループワークをする事でコミュニケーション能力を高め、人間的資質の向上を図るのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生がクラシック音楽やポピュラー音楽の楽譜が読めるようになることを目標としている。舞台のスタッフとして楽譜が読める事でより即戦力となる事を意識していく。また、音楽に対し苦手意識のある学生には、基礎的な知識を習得するプログラムを組み立て、最終的には音を楽しむ・親しむ事が出来るような授業展開をしていく。例えば後期授業のＳＴＯＭＰ発表など。音楽演奏などを通じ、コミュニケーション能力を身につけ、社会にでてから活動するために必要な能力を理解する事を目標としている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。音楽の基礎知識を理解し、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら授業を進める。また、ＳＴＯＭＰ発表など、チームに分かれて練習～発表を行う事で表現力やコミュニケーション能力も身につける。				
注意点	この授業では、学生と教員のコミュニケーションはもちろんの事、音楽が得意な学生と苦手意識のある学生とで課題に取り組み（グループワーク）学生間のコミュニケーション能力も重視する。但し、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応し音楽に真摯に向き合う事を求める。単に授業に出席するだけでなく、主体的に学ぶ姿勢や周囲との連携も求めていく。（詳しくは、最初の授業で説明）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	グループワーク	30%	授業を主体的に授業に取り組んでいるのかを評価する		
	成果発表 （口頭・実技）	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（１回～１５回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
１回	基礎ソルフェージュ		前期の復習と基礎ソルフェージュ		
２回	音程について		音程の考え方、三度の音程の考え方を学ぶ		
３回	ＳＴＯＭＰの曲について① 音程		ＳＴＯＭＰの候補曲をいくつか選択 三度の発展的な音程について		
４回	ＳＴＯＭＰの曲について② 音程		ＳＴＯＭＰの候補曲決定、音程復習		
５回	ＳＴＯＭＰの楽譜を読む		ＳＴＯＭＰの楽譜を読む アンケート		
６回	リズムを感じる		曲に合わせてリズムを刻む		
７回	チーム分け、リズムを感じる		チームに分かれてリズム練習		
８回	チーム練習、完全音程		完全音程を学ぶ		
９回	チーム練習、フォーメーション		チーム分かれてフォーメーションを考える		
１０回	コード進行について		マイナー、メジャーコード進行を学ぶ		
１１回	チーム練習、フォーメーション決め		チームに分かれてフォーメーションを考える		
１２回	ＳＴＯＭＰ練習		曲に合わせて班ごとに練習		
１３回	ＳＴＯＭＰ練習		曲に合わせて全体練習		
１４回	ＳＴＯＭＰ発表		リハーサル～本番発表		
１５回	まとめ		後期のまとめ		